滿洲日報

本紙代價：一枚 四錢／一ケ月前金 八十錢／半ケ年仝 四圓八十錢／一ケ年仝 九圓六十錢／郵稅無料

廣告料：五號活字十九字詰一行一回二十錢／四號活字十四字詰一行一回三十錢／二號活字九字詰一行一回四十錢

本報價目：一張 四分／一月 八角／半年 四元八角／全年 九元六角

告白刊例：一行五號十九字 一日者每行二角 登十日者每日每行一角五分 登一月者每日每行一角 登長年者價目面議

清國營口中盛街（電話二九番） 滿洲日報社

列車發着

金州 發着／三十里堡 發着／普蘭店 發着 後 [illegible]

蓋平 發着／大石橋 發着／海城 發着 前 [illegible]

奉天 發着／虎石臺 發着／新臺子 發着 [illegible]

開原 發着／鐵嶺 發着／新臺子 發着 前 後 [illegible]

遼陽 發着／鞍山站 發着／海城 發着 [illegible]

得利寺 發着／瓦房店 發着／普蘭店 發着 [illegible]

大連 發着／旅順 發著 前 後 時 分 [illegible]

旅順 發／長嶺子 發着／營城子 發 上り [illegible]

營口 發着／大石橋 發 上り 下り 旅順線 [illegible]

蘇家屯 發着 [illegible]

注意
一、乘車驛 南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同樣各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者
一、乘券購入の際は混雜を防ぐ爲め金は過不足なき樣注意すべし
一、料金は軍用手票を標準とし計算徵收す 但し算出上十錢未滿の端數は十錢に切上げ徵收す

特別廣告

告示

八月十七日第九回捕鼠懸賞抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得べし
當籤者八月廿七日迄に衛生局に至り當籤札と引替賞金受領すべし若し此の期限を經過するときは其當籤効力は無効とす

賞銀額
一等銀五十圓　二等仝十圓
三等仝二圓　四等仝一圓

譯文

八月十七日第九回捕鼠拈鬮施行者開得彩號目自示之后十日卽八月廿七日以內其得彩者各携爾領執照徃赴衛生局領銀可也若過期未來領銀時將來其票爲歸廢爲此特示

一、定爲
頭等銀五十圓　二等銀十圓
三等銀二圓　四等銀一圓

第九回捕鼠懸賞抽籤當籤番號

一等 一四九九

二等 一三六四 一五六五 三二〇一 一六六七 一九〇三

三等 三一七〇 九一五 八〇八 一二〇八 五三三
一五九六 一三一五 一三六七 一二四七 一二四九
一一六 八〇三 三六〇 一八二四 一九一一
七九六 二一七〇 一五七八 一一一四 三三八七
一四五一 五九八 二一〇七 一〇四七 一六〇〇

四等 六七七 一七六 一〇九九 二一〇三 二〇八四
一一九九 一〇〇八 二三九四 二〇〇九 一三五五
二一九六 四〇三 一六八二 一七九〇 一一六七
一一一三 二二〇五 一三四四 九〇〇 二〇二四
一〇五二 二二〇三 一三八八 一五五八 二三四二
二三五一 一三九四 一六三九 一一〇二 二二三三
一七一九 一七一五 一〇七〇 二二一三 一七八八
二四四九 二三八七 二一一九 二四二七 一八五〇
二三四七 一九一八 七八七 一七九二 一三九三
一三一八 一〇五一 四二九 一七七〇 五六〇

以上

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昻 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣
（電話十番支配人室）（百八番事務室）
横濱正金銀行 牛莊支店

營業項目
一定期預金（長期存欵） 三ケ月 五分 六ケ月按年五分五厘 一ケ年 六分
一當座預金（暫存欵） 按年 四分五厘 日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存欵） 按年五分一厘 日步一錢四厘
一送金爲換取組先（滙兌） 東京、横濱、大阪、神戸、長崎、上海、天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利） 一般財産並に土地建物の管理を引受くることヽ不動產抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務

正隆銀行

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

軍政署認可
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣） 支配人 深水十八（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周祥偉可面商一切事宜幸中外士商賜顧本行專聘榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是有 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此僅 營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售額色鮮明俱照中國土布家綿白染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議 西街北 東西義順棧內 櫃（電話九十五番） 棧（電話九十八番）

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媢嫣咧（軍旗牌）隆佑來嗝（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）提利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣 東營口西北街（舊代代木公司） 日本官煙營口專賣處

SP 糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告 營口元神廟街元神廟南邊路西（電話百九十二号） 朝日ビール特約大販賣

志岐組
本組開設營口綵定門外東今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

三井 電話 第六十六号 第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部
○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地（靑堆子精揚場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願ト候（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也
三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
山東丸 大連出帆 二十三日 太沽芝罘門司神戸行
横濱丸 三十日午后一時 門司宇品港神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 營口 汽船出帆廣告
潮州丸 八月二十三日入港 牛家屯公泰埠橋 電話二十二番
代理店 ブラツユ兄弟商會 遠來洋行

瀛船出帆廣告
万成源 廿一日天津行
仁壽丸 廿二日芝罘行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（五二 五七）

新着荷 松角材 松茂洋行商品部（電話五二番）

御禮

昨日火災の節は早速御見舞に預り奉深謝候一々御禮に罷出づべきの處混雜の際とて尊名伺洩も可有之乍略儀紙上を以て厚く御禮申上候
八月廿日 加藤洋行

金子義友君 今回御皈國可被成候に付本日午後六時半（營口時間）より牛家屯關東倉庫營口支庫內に於て送別會相催し可申候に付御來會被下度廣告致候也
八月二十日 日本基督教牛莊靑年會 有志

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候 元神廟街二四九（電話三番） 精乳軒牛乳販賣所

遼河 鐵道 裕和盛運輸局（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎城設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟彙代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道連輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理主人 周鶴雲謹 運輸部主任 高濱麟太郎啓

徽州 怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峯雲霧仙芽名茶色香味與衆不同加工揀焙重胥徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡 貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤 怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗等草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷 營口西北街（電話十八號） 旣設分局 牛家屯車站（電話四十六號） 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街 第五號門牌便是

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也 官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療令善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願鐲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上且在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

牙大夫學士兒島醫院 DENTIST. Dr. S. KOJIMA.
大日本齒科醫會部長 日本齒科學會評議員 ●營口元神廟街●
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙科治療從事近時感其狹隘因別卜居開院新式諸器械完備無遺專足於救治牙疼之術齲齒金銀充塡補缺落齒補入妙技矣日齒牙疾患者希咀嚼必要欲皓齒金光燦爛美良者速來方知本院主神秘妙技焉執事●來訪者兒島二字要語曰齒全壽長●注意

東京電報

●日銀副總裁の渡歐（十八日發）　高橋日本銀行副總裁は來月上旬英米兩國に游航募集殘りの外債八千万圓の募集を爲す筈其目的は滿洲經營に使用さるへし

●第一師團行賞發表（仝上）　第一師團配屬准士官以下一〇一七五名の行賞本日發表されたり

●北滿洲と稅關（仝上）　英國政府は北滿洲にも稅關設置の必要を認め之れを清國政府に勸告したり

●露兵叛逆の兆（仝上）　情報によれは齊々哈爾の露軍は哈爾賓の露軍と通謀して叛せんとする兆あり日露戰爭に對する論功行賞の未た無きに依れりと

●南滿株の好況（同上）　南滿洲鐵道株は一般に確實有利の放資物と認められ人氣頗る昂騰せり

●入營期日復舊（同上）　戰役中、中止されたる歸休及び入營期日は總て復舊されたり

●小村大使着英（同上）　小村駐英大使は十七日倫敦着の旨電報ありたり

●清國の革命黨（同上）　清國に於ける革命黨は續々北京に入り込むとの情報あり

●漁業權問題（同上）　沿海洲に於ける漁業權問題に關する日露談判は露都に於て開始されたり

倫敦電報

●小村大使歡迎（十八日發）　倫敦の各新聞は小林大使の着任を歡迎しポーツマスに於ける講和談判の衝に當りたる小村氏を大使とせしは英國の最も喜ふ所にして日英同盟は之れに據りて益々鞏固を加へたりと賞賛せり

●南米の大地震（仝上）　本月十日夜八時頃南米ヴアルパライソに於て大地震あり全市殆んど壞滅し人命及び財産の損害莫大なり

雜報

●勳績議定方針　日露戰役に關する論功行賞中海軍に屬する准士官以下下士卒の分は既に發表を終り海軍佐尉官同相當官の行賞申請書も既に終了を告げ目下内閣を經て上奏中なるが陸軍の第一軍管下の第十二師團、近衛師團及び同第三、第四、第八の三個師團管下の准士官以下の調査中につき此等も近日賞勳局議定官の會議に附し上奏後裁可を仰ぎ發表の都合なりといふ尙勳績調査委員の手許に於て審査しつゝある議定方針なるものを聞くに左の如くなりといふ

▲金鵄勳章　大中少將最上功一級最下（初叙）功三級、大中少佐同功二級同功四級、大中少尉同功三級同功四級、准士官下士同功五級同功六級、兵卒同功六級同功七級

▲勳章（旭日章又は瑞寶章）　大中將勳一等、少將勳二等、大中佐勳三等又は四等、少佐大尉勳四等又は五等、中少尉勳五等又は六等、准士官勳六等又は七等、下士卒勳七等又は勳八等（以上各兵科共相當官を含む）

而して上級職務例へは中少尉にて大尉の職務たる中隊長、大尉にして大隊長の職務を取りたる塲合或は感狀受領者の如き何れも殊勳を以て行賞の御沙汰ある由又兵卒の殊勳者にして現に功六級及び旭日の相當章を有せるもの丶如きは特に有せる年金額の五倍を一時に給與する内規を作られたる由

●某國外交官の露國革命觀　某國外交官は露國革命の現狀に關し訪客に向て左の如く語れり

▲露國革命の範圍　が那邊まで影響すべきかは今日に於て誰人も明言し難きことにして恰かも彼のルイ、フイリツプが我王位は盤石の如しと澄し込んで佛國革命の僅々二十四時間内に迫れるを知らざりしと同一ならん勿論本國政府よりは露國革命の眞相に關して秘密の電報屢次到達すれども如何せん此間の消息は自巳の地位ト暫らく明言し難く止むとなくんば革命の範圍は日一日と恰かも波紋の開張するが如き感あることを一言せんのみ彼の革命黨の旗幟即ち露國農民の大目的たる土地民有主義は恰かも佛國革命の際皇室僧侶貴族と人民間に於ける土地分配問題が革命の動火線たりしと同じく露國革命の好題目と見て差支へなかるべきか

▲英米通信の誇張　去りながらロイテルを始め外國の諸電報に由りて新聞紙上に現はるゝ露國革命の消息中殊に英米新聞の記事は往々誇大に失するの恐れあり蓋し現時の露國は例の原稿檢閲務に嚴重なるが爲め外國の通信員は皆孰れも澳獨の國境に來りて本國に電送する事なれば自から實況に遠ざかり易き憾みあるを以てなり

▲革命派の前途　革命派の連絡が次第に其範圍を擴張するにも係はらず目下の所にては備軍隊には影響し居らざるもの丶如し最も恐るべきは此軍隊と革命派との將來にして露國の革命が佛國と其傾向を同うするや如何は實に係りて此一點にあり尤も此點に關しては官僚派に於ても必死なる注意を拂ひつゝありて現に彼の滿洲駐屯軍總指揮官たるリチウヰツチ將軍すら一時非常の嫌疑を蒙りたる如き其の一例なり勳勞高き老將軍すら尙ほ嫌忌を蒙る程なれば革命派と軍隊との連絡如何は恐らく露國政府と雖も之を確知し能はざるべく況んや余等外間の觀察をや速斷に失するなくんば幸なり

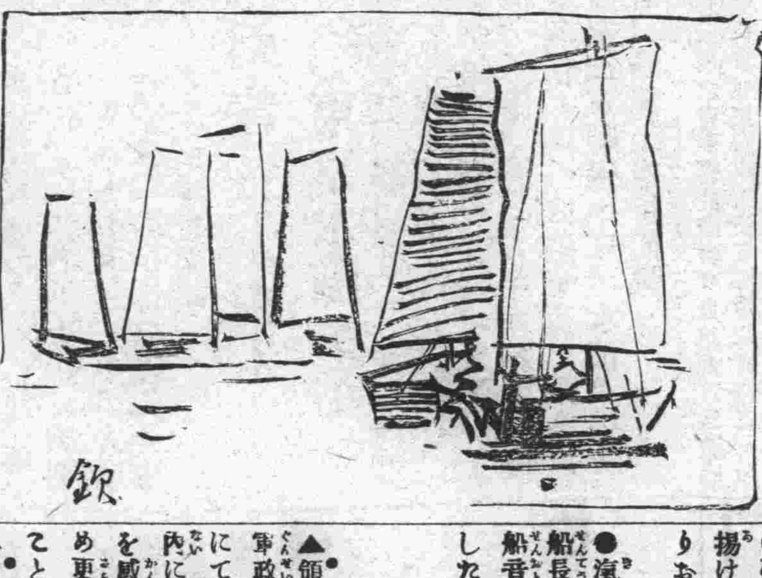
▲議會は餓虎の如し　且つやロマノフ王朝創基以來茲に二百九十三年間殊に獨裁政治を以て歐亞に臨み來りし現王朝が兎にも角にも憲法を發布し議會を開設せる一事は實に驚くべき一大變化にして獨裁國に於ける議會政治の開設は恰も餓虎の如く一度立憲の血を味はんか遂に官僚政治全體の膏血に飽かずんば止まざるに至らん露國前途の騷亂想像するに餘りあり

▲官僚政治の基礎　何分にも幾百年間引續きたる官僚政治の國柄とて此官僚派が充分に革命派の實力を認むるに至る迄は兩者の融和は蓋し容易に望み難からんか若しも現露國皇帝にして斷乎たる決心を以て禍害を未だ甚しからざるに防ぐの勇邁心あらば格別なるも親しく露帝に接近せし人の熟知する如く帝は斯かる最後の大決心を有すべき性質の人にあらざるべし官僚派強き乎革命派強き乎「強者の權力」との格言は蓋し露國現勢の鍵鑰ならんか

▲憲法政治の誤解　只だ惜むべきは露國官僚派が憲法の妙用を知らざるにあり憲法は君主國に於ける治者被治者間の融和機關たることを了解せざるにあり彼のポベドノスチエツフ氏の非憲法論の如き徒に憲法政治の半面の弊害のみを指摘し毫も其妙處に說き及ばず露國官僚派の憲法政治に對する感念推して知るべきのみ

▲日本の皇室　日本維新の革命は奮物破壞新物建築の急潮流を以て一瀉千里今日の立憲君主國を見るに至れるが此の破舊築新の間にも常に萬世一統の皇室ありて高く潮流以外に屹立し政權の移動社會の變遷に關し融和及び連絡の最高力を有し給へるを以て苟も國家の大事に關しては皇室を中心としての君民共同の大結合ありて以て其終始を矚悔す是れ世界各國民中獨り貴國あるのみ成る程時に議會との衝突なきにあらざるも常に其結果の圓滿なるが如き又日露戰役に於ける擧國一致の行動の如き是れ皆一に金甌無缺の皇室を中心點とせる國體の餘光に外ならずして實に世界君主國民の齊しく模範として欽羨に耐へざる所なり

●牛莊基督教青年會發會式　牛莊基督教青年會は其國籍の何如を論せず又其基督教信者たると否とを問はず廣く青年の入會を歡迎し不日會館を建設し圖書室及び娛樂機關等の設備を整へ以て社會的誘惑に對する自衛と高尚なる趣味の擴張に資する目的を以て創起せるものにして今回東京より神學博士井深梶之助氏の來營を期とし去十八日午后九時、營口商業學校に於て發會式を擧行せるか式は大河平學士司會者の席に就き會衆一同の君が代合唱に始まり杉野鋒太郎氏の聖書朗讀、會衆の讚美歌合唱、石川欽一郎氏の開會の祈禱、高橋副領事の發會の辭に次で井深博士の基督教青年會の起源其性質及目的等に關する演說あり續いて來賓領事瀨川氏旅順軍隊青年會主事關原氏及び米國總領事サムモンス氏等の祝辭演說あり黑澤副稅司が發起人を代表して會衆及來賓に日英兩語を以て謝辭を述べたるに對し又もや來賓中の奉天在留ドクトル、キレスピー及び當地在留英國牧師カーソンの兩氏交も起て祝詞を述べ續て廣瀨重次郎氏の仝會設立顛末報告丸山傳道師の感謝祈禱、會衆の讚美歌合唱等あり最后に石原牧師の祈禱にて閉會せしは十一時過なりき當夜の來會者は前記諸氏の外露國領事ベルチエンコ氏、バンデチル氏夫妻及び同令孃金子主計正等一百十三名、



營口八景　其五　西營口の閑汽

●浦鹽航路の競爭　近來露國東亞滊船會社は同國政府保護の下に浦塩敦賀間及び浦鹽長崎上海間の二航路を開き其結果我日本海に於て多少の競爭を惹起すべきは勢の免れさる所なるが現時我國に於ても浦塩航路に二線あり一は大家滊船會社の營む所にして敦賀より北海道を廻りて浦鹽に達するもの他は郵船會社の浦鹽線にして大阪神戸長崎元山を經て浦鹽に至るものなり而して大家滊船が東亞滊船の競爭を受くべきは唯敦賀一港に過ぎす而かも敦賀の對露貿易は誠に微々たるものにして荷物は殆んぞなく唯多少の船客あるのみなれは東亞滊船にして茲に航路を開くも其影響知るべく又郵船會社の線路も唯長崎等に於て多少の競爭を受くるに止まり而かも同社の信用勢力は充分東亞汽船を壓して餘りあるべし唯上海より浦塩行貨物の大部分は或は東亞汽船の吸收する所となるべく從て其爲に大影響を受くべきは我汽船にあらずして寧ろ從來上海浦塩間を往復せる英船若しくは獨船なるべしといふ

●日本人會の組織改良　從來營口日本人會が我居留民の代表機關として差したる活動を試みず夫が爲兎角の批評あるは世人の知る處なるが今般中村前會長の內地に轉勤せるを機として判然該會の組織を改め純然たる居留民會とし同時に居留民長を撰擧し以て居留地自治團体の基礎を造らんとするの說一部の評議員間に行はれつゝあり因に該會手既に青堆子の新市街に地をトしつゝ新築工事に着手中なれば竣工の曉には直ちに該地に引移るへしと云ふ

●米人メルション氏　かねて清國漫遊中の仝氏は先日來奉天附近視察しつゝありしが昨朝飯營マンチユリアハウスに投宿せり氏が今回來遊の目的は支那に於ける礦業視察に在りて既に奉天方面に旅行したるも噂程の礦脈もなき樣子に付兩三日內に天津に引揚け更らに安東縣方面に向け出發する旨語りおれり

●滊船の衝突　昨日入港したる滊船仁壽丸船長の話に依れは大阪田中松之助氏所有汽船音羽丸と外國船某號と芝罘沖に於て衝突したる由詳細は追て報道せん

遼陽通信

▲領事廳出張所の狹隘　領事廳出張所は元軍政署跡家屋へ置れしも事務室は一室のみにて不便甚しく殊に署員の宿舍までも構內に假設せるの止むを得ざる爲め益々狹隘を感ぜしが今回從來の事務室を警務室に改め更に他に適當の家屋を以て事務室に充ること丶なり目下右家屋搜索中なりと

▲居留民會組織　は目下準備中なるが未だ戶口調査完了せざるを以て其發表は該調査完了後即ち來る廿五六日頃となるべく居留民は居留地經營上一日も早く其組織を見んことを希望し居れり、因に領事廳より既に發布せし諸法令は居留民取締規則、旅人宿營業並に料理屋取締規則、違警罪、藝妓取締規則、銃砲火藥取締規則等なり

▲警官の多忙　は名狀すべからず外は戶口調査に、內は事務の整理諸規則の立案等に忙殺され居れり、又速水副領事は熱心に警官の妻帶を慫慂し居れば追々家族携帶の警官を見ること丶なるべし

▲兵役義務者へ告示　遼陽領事廳出張所は去十八日付を以て遼陽及び附近に居住する兵役關係者（現役を除く）に對し、本籍現住所入隊任官退營月日及び官等豫後備休停職兵稱位勳氏名等一定の書式により本月三十日迄に屆出で、尙今後該關係を有するものは居留の日より五日以內に右同樣屆出べき旨告示ありたり

▲清語研究會の成績　遼陽基督教青年會敎育部にては去六日より清研究會なるものを設け江川通譯官に囑して敎授を開きたるに入會者頗る多く本月十六日まで三個月間に前期を終り暑中休暇として九月末日まで休學十月上旬より引繼ぎ後期の敎授を爲す筈なるが二三の優等生は既に日常の會話差支なき迄に進み頗る好成績なりといふ又同會は去十六日青年會に於て茶話會を開き高畠爲次郎、伴武氏の談話あり一同紀念撮影を爲して散會せり

▲萬壽節祝賀　清國官紳の催しに係る萬壽節祝賀會は十六日午後二時より警務學堂に開會來賓は我軍隊各部隊長、領事館員、民間紳士等數十名にて巡警總務局長干沖漢氏は日本語にて挨拶を述べ兒島聯隊長の答辭ありそれより兒島氏の發聲にて清國皇帝陛下の萬歲を干沖漢氏の發聲にて我天皇陛下の萬歲を三唱し式終りて宴に移り種々の餘興ありて主客十二分の歡を盡し散會せしが實に近來の盛會なりき

▲軍隊慰問演說會　遼陽基督教青年會は今回日本基督教青年會同盟部長神學博士井深梶之助氏が滿洲に於ける傳道視察として來遼せるを以て來る廿一日午後八時より遼陽城外劇場に於て軍人軍屬慰問演說會を開く筈なるが當日は一般居留民にも參聽を許すと云ふ

●年金受領者の注意　從來年金の受領者は年金證書受領後直ちに自己の居住地を年金の支給を受くべき地方廳へ屆出つべき筈なるに自己の怠慢より其の屆出を爲さずして却て年金支給方の遲延を嘆つもの多き由なるが政府は此點を顧慮し特に今回戰役の功に依り新たに年金證書を授與せられたる者には居住地屆出用紙を印刷して該證書に添付することとしたるを以て年金受領者には必ず三日以內に其の支給を受くべき地方廳を指定して賞勳局に屆け出づると同時に右の居住地屆出用紙に自己の居住地を明瞭に記載し署名捺印したる上之を年金の支給を受くべき地方廳へ提出し速かに年金の支給を受くべしとなり

●執務時間復舊　軍政署にては最早暑氣も大暑を過ぎたるを以て其執務時間を復舊し每日午前八時より正午迄午後は二時より五時迄事務を取扱ふとと爲れりといふ

●一往一來

▲興倉中佐　公用を帶び一昨日山海關出張

▲降旗元太郎氏（代議士）　一昨十九日大連より旭ホテルに投せり

▲井深梶之助氏（神學博士）　去る十八日旅順より來營黑澤氏方に滯在中の處昨日遼陽へ向け出發せり

忙中閑筆

當代の風流才子と人もゆるし自らも任じて居る林田衆議院翰長は此程も北陸漫遊に頗る風流的話柄を造られたそうな▲それを近着の二六に面白く記載してあるから一寸こゝに借用して讀者のお慰に供へよう▲時は本月の二日、阿部新潟縣知事が大に北越美人の尤を揃へて翰長を歡迎するといふ前觸れがあつたので、翰長は指定の時刻に先だつ事約一時間許りの頃早くも會場の鍋茶屋へ赴いた▲而して當夕知事公のお座敷へ約束となつた藝妓は誰々であるぞと云ふ事を悉皆聞取りすラ篤と女將に言含めて今夜のお客をするに就ての準備會なりと稱し大急ぎに右の藝妓共を召集せしめ、翰長即製の「八重の汐路を遙々と夕べに來たのか阿部川を一二三四五まではよけれども六つと來ちやお腹がポテとなる」と云ふサノサ節を一同に悉く呑込ませ且踊の手まで遺憾なく附けて置いて何喰はぬ顏で知事公の入來を待て居た▲やがて定刻になり阿部知事以下二三高等官等來臨正賓林田翰長も今始めて來たやうの風に裝うて座に着く、藝妓共も處狹までにズラリと打並ぶ、お座附が濟んで何か越後名物をと云ふ、知事は追分てそを促がす、藝妓共はイヤ追分よりは近頃盛んに此土地に流行りまする唄があるゆゑそれをお聽に入れましよと右「八重の汐路」を唄ひ且舞たので知事以下主人側の連中はオヤ〳〵とばかり呆れた▲前記唄の文句中で當夜は來ず、お八重は來たが態と前の準備會に加へなんだ爲めにお八重諸共大面喰ひであつたさうナ▲其晩以後暫く間に此唄新潟の花柳中に廣まつて當分ドコへ行ても聞かされぬとはなかつたと云ふ

日報俳壇　野梅選

課題集句選（其十）

蟬鳴きカにきらつく日の光り　雪友
笹も葉を卷き出す頃や蟬時雨　同
添乳した兒に起さる丶午睡哉　省堂
玄海を根にして立ちぬ雲の峰　同
雲の峰うつる床屋の鏡かな　失名氏
ヂーと鳴て月夜の蟬の立に鳬　同

追加

夕榮や淡路島山雲の峯　野梅
たとふべき白さを知らず雲峰　同
破鐘を耳もとに聞く午睡かな　同
詩臺閣の氣なき貴人の午睡哉　同
啞蟬もスヽシの衣若たりけり　同
空蟬や心を爪にのこしたる　同

夏季雜題　句數及期日を限らず

課題　蚊　涼　朝顏　八月末日まで本社編輯局俳壇宛に御投稿ありたし

要貨物の價

穀物相塲（五日）

青豆　一石　七、〇四五錢
黃豆　仝　七、〇一五
黑豆　仝　六、〇八三

綿布相塲

大鹿　一疋　四、〇八〇錢
卷狗頭　仝　四、〇五〇
益大牛　仝　四、〇四〇
元馬　仝　四、〇一五

老人馬　一疋　四、〇五〇兩
金奎鼻布　仝　五、〇九〇
藍圓龍票布　仝　五、〇五〇

綿糸相塲

益漁　一捆　九八、〇兩

九龍
人担茶　仝
紅人竹　仝
四童人　仝

綿花相塲

七、六〇〇兩
七、五〇〇
七、四〇五
七、四三〇

內地向　一〇二、五〇圓
上海向　七一、〇五兩
天津向　一〇三、五〇
芝罘向　一〇三、五〇
（正隆銀行）

軍票百圓　銀百弗

淡谷
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料
栢木元料紅松料木油松方料元木大小
檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售

小說　市松格子（七）　ふみを

「難有う、頂きます。」と會釋して、控え勝に柚餅を摘む。「亡なつた人の葬式を濟して、一先氣が休まる時には殊に寂しいものだと申しますが、ほんたうに是でございますわねえ。」

「全く寂しい」と口を切つて、おつとお島を見入つたが「併し、島ちやんは、實に世話だつたね。全然痩せて了つたぢやないか。」

「とんでもない事を、私はこの上もないお恩をうけてゐるのでございますから、憖麽ことでもいたしますつもりですわ、それに云ふ甲斐もなく　這麽事になつたのでございますもの、且那樣が那樣しておゐでなさるのをお見がけ申します毎に、まだ〳〵私の看病が足りなかつたんだと思ひますともう遣瀬がなくなるのでございますよ。」

「串談ぢやない、彼以上の看病が沖も、血族のものだつて出來るものか、島ちやんが有つたればこそ、道子も安心して死んでゐる。」

心から達雄は、うれしく思つてお島を見やると、稍瘻の見えた面をぽつと上氣して、亂れかゝつた銀杏の殊の外なまめかしく、膝に置いた手を無心に揉み合はせてゐる狀のけふばかりは、一入、なつかしくも可愛しくも見えたのである。

「ほんとに心から禮をいふよ。」と手をもつて思はず握り締める。

「あれ、………。」

忙ただしく、引かうとしたが、握りしめられてゐるので、強いては引かず、仰向いた目の端なくも、達雄がそれと、ひたと合つた。

此日以來、達雄が前にある間は、そは〳〵と、爲る事も手につかぬやう。かうして近く侍くことの此上もない罪を犯すやうに思はれて心苦しければ、さりとて、云ひ付けられし事なれば、その前去る事もならず、其心を何故とは知らず、慕しくも恐ろしい人に思ひ初めた。

これを明らかに戀ぞとはいふまい、戀などとは云はれぬ、云はれぬけれど、只これまでに、寧、主人として敬してのみゐた時の心とは違ふ。

秋さりそめたなつかしい夜頃を、庭に紅葉のかげ灯影に情らしく映ふ時分、達雄が居室の次室に、例の通り、床伸べて、身越の方往く末を、心靜に思へば、あさましくも儚ない身の上、近頃頓に病多くなつた身に便る親身ともいふべき伯父はあの通りの人、只獨の誠の父はいづれの里へかさまよふ、四つの年に別れて以來、一年ほど前までは名さへ知らなかつた有様の、何くれと氣つよく賴もしくいふて下さるのはこの旦那樣ばつかりと、ふと思ひよるとき。「島ちやん」と耳の側になつかしいその聲。

夏の雲遼河の水に白き哉　紫草

●一昨日の火災（損害七萬圓）

一昨日の火災は午前十時二十分に起り午后一時四十分まで約三時間にわたりし稀なる大火なりしか其詳細を記さんに△火元は加藤洋行の倉庫二階にして全府の厨夫郭春田が晝飯の仕度をなし終りて店に行き居りし間の出來事にて如何にして起りしかは知るに由なきも多分其の間に二階に燃へ移りたるもの、如し△最初發火を認めたるは太田洋行の下女にして晝飯の仕度に取り掛らんと臺所に趣きしに何か二階に音ある故思はず仰ぎ見れば火は已に二階に燃へ廣がりおり驚きて大聲を發し急を報じたる次第なりと△警鐘の亂打に驚き乘人の驅け付けたる時は火は已に太田洋行に燃へ移り居り加ふるに多少の西風ありし爲め消防の盡力したるにも拘らす兩店の倉庫は一物をも出すを得ずして全く烏有に皈せしよしなれど不幸中の幸とも云ふべきは加藤洋行の住居と太田洋行内丸三組の荷物とは乘人の力に依て全く全部を救ひ出されし由要するに當日の火災は河水に近き所にありながら喞筒の裝置意の如くならざりし爲め消火意の如くならず又太田洋行の住居及各倉庫の出口か狹き爲め其の荷物は全く全燒の不幸を見るに至りしなりと△全日喞筒は東海關及軍政署の二臺か尤も有力に働き他に支那人の持ち掛けたるものありしも多くは使用せざりき△損害の程度は左の如しと

太田喜輔（全燒）	一、七〇〇〇
加藤洋行	三、〇〇〇〇
丸三組辻川郁太郎	一、三〇〇〇
家主孫島	一、〇〇〇〇
合計	七、〇〇〇〇

因みに加藤洋行の貨物は二万圓の保險に附しありしと

▲失火餘聞　出火の際加藤洋行主人加藤氏及丸三組支配人辻川氏は飯郷中なりと△火事の爲め消防夫安東政吉小山安五郎濱田亥之助の三名は負傷し安東は入院治療中△火事の眞最中獨乙領事メッケル氏は非常の熱心を以て加藤洋行の消防に務め着用の白衣は全く見るに忍びざるに至れりと△丸三組副支配人小濱氏病氣入院中の處退院して二時間立つや立たずにて燒け出され大に弱りおれり△加藤洋行は店へ引移り太田洋行は和田保の二階へ丸三組は秦東公司裏平山氏方へ假りに移轉したりと云ふ

●遼陽端書だより　過る六月當地日本人會の催ふしたる慈善演藝會が接觸の機と相なり以來軍人と居留民の間和合の光彩を放つ樣相成り近頃に至り益々官民融和の實を擧げ尚清國官紳との間も極て折合宜敷候儀は嬉はしき現象に有之候將來官民融和の美風を保ち歩調を一にせざれば官と民となく滿洲經營の不言實行を期し難く殊に新來の速見副領事は溫厚の人とて圭角のあるべき筈なく軍領民の三要素一致仕候丈は他所に讓らざる事と存居候儘一報申上候（在遼陽綠城生）

●醉月の後聞　過る十七日の本紙三面に醉月の不埒てふ題にて醉月樓主吉井榮次郞の惡事を筆誅したるに其後警務課居留民係の探知する所となり昨日名倉ツタ（榮次郞の妾前名一郞事）は其筋に召喚せられ嚴重なる取調べを受けたる結果表面は日華製藥合資會社の女工に轉籍せるも事實は全く醉月樓にありて毎夜〳〵樓主榮次郞の夜伽を爲しつゝあるを逐一白狀し早速二度の轉籍をなしたりとは小氣味のよき咄なり

●滿洲女の本性　後悔先に立たずとはさる事ながら茲に平野町滿月樓の下婢森川きく（一九）は此間まで叢中の螢ならねど尻の光りで世を送りて居たものだが先頃汽船萬成源丸の機關士某と熱い仲となり遂には極り通り大枚二百餘圓で見受けされ丸髷姿でチヨイトお前さん……テナ事で大喜悅はよかつたが、もの、十日もたゝぬ今日此頃になりてはそろ〳〵と摘み喰いの本性を現して自由勝手勿論の事たゞてゐるやら、跳るやらでさんざんの有樣果ては朝から夜まで家を飛び出し遊び廻るのでさすが甘味の機關士も昨今非常にてばし居り無念の淚に咽びながら同僚の誰彼に滿洲女に懸り合つては大變な目に合はされると自分の失敗談を述べて忠告して居るとはとんだ者にみいられてイヤヘヤ

●怪しの男女　近頃邦人中洋人を眞似て公園邊りを男女手を引合ひて散歩せるが之れも二十世紀の現象として一寸人目を惹くが中には淫賣婦と手を引合ひ公然是れ見よがしに散歩せるあり何甚しきは其如何なる素性の男女たるや知るに由なきも毎夜の如く四隣寂寞たる午前二時頃より三時頃まで或るベンチにより掛かり奇々怪々なる言語を弄し加ふるに實に見るに忍びざる擧動を爲すものありぞの投書ひら〳〵

●三千圓竊取者顯る　去る三月天神廟街土木請負業井上公司に現金三千餘圓を盜取せられたる事は其當時既に記載したる所なるか警務課岡本憲兵は熱心犯罪者を搜査中の所意外にも同家の雇人たりし安川某の竊取せし事判明し一昨日當警務課に引致し嚴重に取調べたる結果逐一自白したれば其詳細は次号の紙上に掲載することとせん

●大角力と本社の懸賞

大江山、手柄山一行の大相撲は當地に乘込みし以來日々非常の人氣にて當りをとり居り五日間にて打上げの豫定の所最負筋の勸告に隨ひ尚三日間興行することゝなれり就ては我社も斯道奬勵の爲め

別染友染縮緬浴衣一枚（玉井呉服店販賣）

初日より打上げ迄の全勝力士と一昨紙上の記載したるも頭取草風氏と協議の上日延の即ち六日目より三日間迄の全

勝力士に賞與する事とし幕內幕下に限らず二名以上全勝者を生ぜし際に於ては受賞力士撰擇方は之を頭取に一任することゝせり

●大相撲の木戸半減　別項大江山手柄山一行の大相撲は大入り御禮として今明兩日に限り正午より開場し各等級を廢し木戸半額（三十錢）にて觀覧に供する由

朝顏やすゝきが作る四つ目垣　紫草

投書かご

▲先頃萬朝の俚謠正調應募中に「泣いて呉れるな可愛の駒よ今宵恐ぶは戀じやない」と云ふのがあつたが僕は嘗てこれ程の名歌は見た事がない又此後とも見る事が出來ぬと思ふ（牛太郎）▲僕は語學研究會の設立を望む清語、英語、露語の三科の然してあらゆる青年を網羅しテニス、自轉車談話、俳句などの會は此語學會の副課とする（某生）▲日報俳壇は新舊兩派の混同ですがそれでは純然たる勢力は作り得られますまいに同感せられしを謝すと同時に將來大發展を當欄内に期待せん（鐵骨△士）▲遼陽に救世主なきや可憐な少女は〇〇ホテルに於て現に虐待の呵責に遭ひつゝあるを知るや知らずや（救世史朗）▲滿洲日報社に一寸伺ます福引は何日より始て何日に終り升か（伺生）掛曰く東京より景品到着次第に開きます▲高砂のお多福さんがはていばらをかゝへて當地に來て居るそうですが何所に居るのですか御存じの御方は御知らせ御願申上候（用有生）▲大町桂月曰く日本の男女の交際場は即ち酒樓也……此交際の戰場を經たる者にして初めて世に活動すべし……と世間の遊野郎には定めし百萬の身方を得たる感ずるだらう呵々（春濃生）▲生は最近營口に來航せし者就職せんと欲するも知友なく閉口せり當地に何か職務はあらずや仁愛の士にまつ（初心者）▲第二葉の仲江さんお花の御教訓を賴む（立願生）▲二本町の菊水の五郎さん進水式御目出度う（燒餅孃）▲此節不景氣の爲めにやあちてちハチハチ遊びが初まつて居る其筋のぬけ目はなかだらうか一寸御注意申します（遊惰者）▲僕は遼陽の名所を趣味よく綴りて遼陽名所哥を作り九月四日占領二周年紀念會の奇抜な餘興に加へて見たい同志者のあるや否や（遼陽寺觀居士）▲投書籠はドウモ寂寥だ同感の士よ非常なる氣焰を飛はして大に賑かそうではないか（呵々老人）

●滊船彙報

▲宜昌號　去る十八日午後一時三十分乘客四百四十七人を搭載し太沽より入港せり▲勝山丸　乘客二名外雜貨數點を積載し同日午後二時穫頭より入港せり▲萬成源　天津より乘客四九〇名を載せ一昨日午后一時五十分入港す▲山東丸　乘客十八名外板ビール雜貨搭載同日二時半天津より入港せり▲ヒンサン號　乘客四八名外雜貨積載同日日午前八時香港より同牛莊號は乘客二百三十六人を載せ昨日午前十時ランカオより入港せり▲プロントゥ號　は支那客五五名を載せ昨日午後三時半芝罘より入港▲盛航丸　豆及び豆粕二万餘を積載去る十八日四日市へ向け出帆せり▲日勝丸　同日同時豆及び豆糟三万三千を積み汕頭へ向け同ウエンチヤオは同日正午十二時四十五分乘客九〇人搭載ランカオへ向け何れも出帆せり▲ダグマー　乘客三百名を積み一昨日ランカオへ向け出帆▲昨日正午現在碇泊船は十一艘なり

俗歌壇

（喇叭節）

伯爵夫人　今枝春濃

松や杏樹の葉を踏んで、義父の墓前に哭く數馬、延代がさし出す緋い袱紗、うけぬ心のいたわしさ

○　華虫

志を立てし早や三年、荒涼無味の滿洲に、思ふ半も遂げずして、夢は故山に迷ふなり

不如歸　汀子

將來語る不動祠、長き別れと白眞弓、さびしき顏に笑をたへ、早く歸つて頂戴な

金色夜叉　仝

戀の希望に捨てられし、闇の心の煩亂は、岩打つ浪のそれならで、照らす月さへ曇らする

○　仝

牛牧ふ童汝ゝ立て、鍬ゝる翁なれも行け、我同胞の血に肥へし、無盡寶庫の滿洲へ

○　大塚龜甲

昇り初めにし朝日影、そよぐ籬の葉ゝ照す、昨夜の星の微笑を、語り顏なる牽牛花

○　仝

父に死別れ慈母樣は、如何なる故か生き別れ、酷き繼母御の御憎みに、慈母や何處と空仰ぐ

廣告

●印判彫刻　●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉インキ附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候

刻字舖　營口永世街三十七号　尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店

安東縣市場通七丁目　合資會社　秋田商會支店
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類
洋鐵鋼　其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街　合資會社　秋田商會支店

近火御見舞御禮
日本巻煙營口專賣處

銘謝　近火の御見舞
大清通運公司代理店
大清通商公司

御禮
一昨日類燒の節は早速御馳付御盡力被下奉深謝候一々御禮可申述筈に候處混雜の際とて御尊名伺洩も可有之乍略儀紙上を以て厚く御禮申上候
七月廿一日
太田洋行
丸三洋行

社告　●大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊讀者諸君平素の御眷愛に酬いんが爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等	金時計（大賞堂保險附）	一個
二等	貴婦人用帶地	一筋
三等	純金指環（大西白牡丹製）	一個
四等	上等洋傘	一本
五等	縮緬兵兒帶	一筋
六等	縞毛布	壹枚
七等	フランチル單衣地	壹枚
八等	勸業貯蓄債券	壹個
九等	巻煙草入	壹枚
十等	言海	壹部

等てあります、月極讀者は勿論後滿一ケ月以上本紙愛讀の方には來月早々福引券を配布致しますから未購讀者は此際成べく早く御注文を願ひ升、景品は着荷次第永世街三友洋行の店頭に陳列し讀者諸君の觀覽に供します、又抽籤場所は營口座とし其時日は追て報導致します

●寄贈副景品

▲白米　一俵	第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁	金城館
▲手拭　十反	日本館
▲エジプト紙卷莨五箱	第一樓
▲濱縮緬上等兵兒帶一筋	奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個	醉花園
▲玉突券五十枚	第二軒
▲平野水四ダース二箱	東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱	三日月樓
▲澤庵積一樽	公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース	東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダス	大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱	萬直し
▲上等西洋料理券三枚	牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着	富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚	祇園閣
▲置ランプ三個	三友洋行
▲呉服券三枚「五圓、三圓、二圓」	玉井洋行

滿洲日報社

謝近火御見舞　海仁洋行

謹謝近火御見舞　松茂洋行

營口永世街七十號（第二市場東）

軍隊用雜貨　日用品雜貨　呉服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類

御小賣

石原商店

其外新荷着精々安價販賣

廣告

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等　麥酒スペシヤルライト

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

りん病　せうかち　ボーコーカタル　即ち花柳病の特効新藥

（醫藥學細菌學應用　萬國陸海軍局方參照）　登録商標

御與藥　複方　麻病丸（りんべうがん）

藥價　三日分　三十戔　七日分　五十戔　十五日分　壹圓　小包料十戔

韓各有名藥店取次全國各地及清

大阪江戸堀下通三丁目　電話西千五百九十番　本家

〔安々堂藥局〕

複方　痳病丸（白濁薬）

此藥嵩治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子牛殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速

批發所　營口永世街警務課東隣　回天堂大藥房　電話百九十號

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上唯一樂園

五龍背温泉

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂痲質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

全身魔醉。局處魔醉。嶄新器械。無痛手術。

梅毒婦人科　外科胃腸病　專門　日本醫院

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムチ、檣柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及檣柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外街　林洋行

大和館へ轉宿す　遼來洋行員　高間彌之助

雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣

大連　南洋　湖北　彩票　販賣

營口　西北街　（周）　裕和盛　電話八一

鑵詰　紙化　粧品　特ニ　安賣

東清　鐵道　遼河　貨物　運送

御料理旅館　三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に聰する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候　以上

樓主　川上總吉

會席御料理

座敷は高尚閑雅御料理は原料を精撰致し風味佳良に調進可仕最も美形の粋を極めし御取持は申も愚か殊に御手輕は弊亭の特色に御座候間御安神被遊續々御光來の程偏に願上候

豊濟門街　柳亭

二白琴藝妓をも内地より呼寄せ申候間御愛顧願上候

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入

和洋御料理　遠山館

今回者様方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決してく遲れぬ様にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコックも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

御料理旅館　東來館

遼陽陳家街破門東入ル先側

大勉強は本館の特色

近江病院　永世街二本町

院長　近江周友

副院長　增田八郎

内外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門

午前宅診　午後往診

入院治療を諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼陽城外喇嘛塔下　遼塔ホテル

仝城内東街　遼東館

仝城内西街　滿洲ホテル

仝城外喇嘛塔側　浩氣館

仝城外西門外通　藝陽亭

仝上　遼陽館

仝城内東街　東洋館

仝城内北街　滿洲館

仝城外西門外通　梅廼家

御旅館

旭ホテル

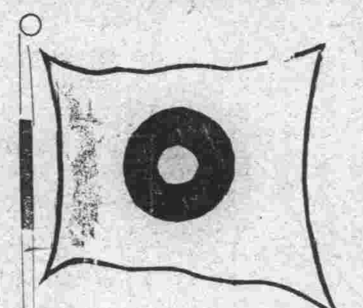
家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處

二百人迄の御宴會に差間なし

場所は牛家屯行輕便鐵道の央

青堆子新市街

（電話二三五）



巡航滊船取扱元

牛家屯營口間曳船業

瀨取貨物取扱業

元神廟五十五号

東省巡航公司

（電話二百三十六番）

牛莊松岡病院

内科外科眼科婦人科診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士　松岡玄雄

（電話一五一番）

洋料理

滿月　平野町（電話一六二）

滿月支店　平野町青木店入口　主人惠

靴製造并に修理

右安價を以て確實迅速に製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ

桑田靴店

御料理旅館

扶桑館

奉天大西関大什字街第五分局千〇六十八号

館主　堀田ハル

電話　号

内科外科眼科

梅毒婦人科

耳鼻咽喉科

殊に外科は總て無痛手術を施す

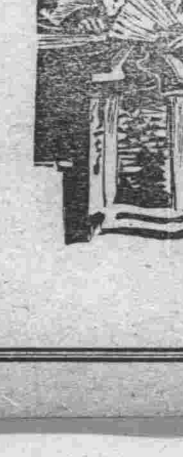
永世街第五十二號

藤井醫院

盛海洋行

營口永世街

加藤洋行新着品廣告



營口丸にて

文房糊、複寫紙

手帳、ペン洗

國旗、手風琴

沓下、手袋

剃刀、刷毛

額縁、下駄

金庫、マット

拴拔、錠前

フートボール

ハイカラタオル

ダンス石鹼

莫大小シャツ類

ソース、辛子

密柑其他の

鑵詰類

販賣部（電話八十番）

配達は

午前拾一時より

午后五時より

會席料理

三日月

營口警務課前南江入る

法學士　辯護士　値賀連

目下當地左の出張所に居住す

營口永世街第三號ノ二

（金城館ノ南隣）

大連大山通二丁目三十一番地

◉煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行

煉瓦製造部

（電話九十番）

宮門抄

二十五日推班

承祐謝仍在軍機章京上行走 恩 楊士琦等謝授缺 恩 內務府呈進九九盒 內閣呈進袁世凱等賀本

召見軍機

皇上明日辰初二刻至 樂壽堂行禮畢升仁壽殿受賀

二十六日推班

召見軍機

二十七日

吏部 翰林院正黃旗值日無引 見 兵部奏派查齋之大臣派出奎順

召見軍機

皇上明日辦事後 由頤和園至大高殿 壽皇殿行禮畢還海等候跪接

皇太后還海

論說

再續南京徵兵與巡警衝突感言（續前稿）

二巡士非與徵兵格鬬。彼此互毆。以器械相擊者。始能謂之格鬥。今巡士屢被毒毆。皆未抵抗。以彼三五成羣之徵兵。而謂孤崗隻身之巡士。動以警棍相加。有是理乎。況警棍爲巡士之携帶品。用以備正當之防衛。雖車馬不得擅擊。何況人民。何況徵兵。縱巡士之資格不高。偶打車夫。固所難諱。而謂以加諸徵兵。此斷吾輩之頭。而可爭其必無是事。況巡官多係北洋警察學生。何致如此不知教育。欲加之罪。何患無詞。三徵兵轟打警察。巡長佩刀。巡士警棍。沿途均被搶奪而去。（此次徵兵一人。僅受掛掠微傷。而警察巡卡毀至八所。巡士被傷至三十七人。有一人頭受刀傷。長至寸餘。一人腿受刀傷。深至寸餘。該徵兵對於巡士刀棍交加。即受微傷。亦係誤掛。咎由自取。然則徵兵之毆巡士。斷非巡士之毆徵兵。可以明矣。由此觀之。各有所袒。即各有應得之罪可。無疑義。然徵兵已殺二人矣。巡士之處分。尙未有明文也。辦理此案者。其苦衷如何。其深意如何。不得而知。以表面而觀。明明輕徵兵而重巡警。宜乎徵兵飲恨。學界公憤。羣起而議其後也。然而吾更有說焉。徵兵罪之大者。以其毀巡卡也。巡士罪之大者。以其不站崗也。巡士何以不站崗。曰畏毆徵兵之故。徵兵何以毀巡卡。曰受辱巡士之故。此猶第二級之現象也。

推其致此之由。則必因徵兵與巡士。平日相嫉之故。中國今日行 徵兵之制者。所以求完全軍人之資格也。吾國重文輕武。積習已久。好人不當兵。斯語成爲俗諺。軍人之可貴。無人知之。即爲兵者亦不自知。一旦徵兵之命出。投身國旗下者。皆非市井無賴。從軍之日。學界排隊送之。報界交口譽之。以作其尙武之精神。隆重如此。徵兵撫心自問。亦自信與舊日募兵之人格不同。其自待高尙。睥睨募兵。在所不免。於是募兵嫉之。而蘇州徵兵募兵交鬨之案起。中國今日之軍隊。與巡警編制。雖各不同。而禦內禦外之輕重。尙未分晰。統名之曰兵而已。名目甚混。故巡士亦嫉之。嫉而致相殺。其出來必非一日不止一事。統兵諸員。豈不知之。知之而釀成之。則又何故。必平時統領徵兵之警官。因保全徵兵名譽與權利。內徵兵而外巡警。統領巡士之警官。亦因保全巡警名譽權利。內巡士而外徵兵。遂至以眦睚之怒。而釀大禍。其咎果誰屬也。徵兵成立未久。佔政界勢力甚薄弱。巡警開辦有年。積政界勢力甚厚。事變之起。各袒其部下故徵兵殺而巡士可保首領 聞徐統制當徵兵斬決時。流涕不忍仰視。其公義私憤。交迫於胸可知矣。（仍未完）

中外要聞

●定期設安東大東兩稅關　聞外部與稅務大臣總稅務司 磋商擬自西歷九月初一日在安東大東兩埠開 設稅關以便抽稅

●楊右丞擬赴東三省考察電政　前電報局總辦黃觀察 開文赴東三省考察電線事宜回京與袁宮保商議在東單牌樓二條設東三省電報公所一節已誌前報茲聞黃觀察赴東三省考察電線事宜尙有諸多滯碍由黑龍江至北京之電報均借俄電於中國事權亦有不便故幇辦電政大臣楊士琦與袁宮保會商以黃觀察考察尙未詳 爰擬親赴東三省考查添設電線事宜以便通信故現外間有商部派楊右丞赴奉天 查辦事件之說實因此云

北洋奏辦無線電報情形　無線電報爲西人新創之法輕巧靈便隨處可設尤以意國人馬康呢所造機具能達一百五十英里者爲最適用直督以此種電報新製實爲軍用要需因聘意國海軍游擊葛拉斯承辦購置機器教授學生諸事先就海圻海容海籌海琛等船安置妥帖繼在南苑天津保定行營等處新建電房排設機座現皆次第事逐加查驗機器均屬靈捷字碼亦頗淸晰直督以北洋創辦此事已有端緒因特將籌辦情形奏聞幷咨請商部查照

●滇南旱災請欵　雲貴總督丁巡帥鐸電奏爲滇南自春徂夏未雨禾苗乾枯農民失望加以連年地方苦瘠民無積穀遂至流離失所大旱成災請飭部撥欵解滇以資賑恤並由滇自行設局籌欵急謀撫恤等話奉 旨已飭戶部設法籌款解濟

按今歲粵鄂湘贛大水成災江蘇皖浙飢民迭起甚日南淸天禍吾同胞外敵環伺內患叢生實可爲隱憂矣

●英新使到京期　聞新任駐京英使前已由 啓程現正到美國游歷不日由美國啓程於西九月中旬來京履任云

●商部函述改律意見　月前商部發布破產律上海錢業諸商以及各報章嘖有異議或具禀商部或著論駁議均望改定以便施行現聞商部因此函致張殿撰及上海商會略云本部釐訂破產律爲便商起見故上年定議編纂即先徵各商會及商務議員之意見始行參照起草故此律大半均係採自各處條陳以便施行故比各國法律雖未盡完善而我國國民程度尙低如盡採各國條律恐有過高難行之弊夫本部立法有深意未能僅憑一業之意見一隅之風氣遽爲更張而諸商如果確有見地深明法理又周知各處習慣指出此律何條未便何條難行本部詳加覆核虛衷採納以符立法之本意而資後日改良之參攷云云

●羅田匪平確信　前者安徽霍山匪亂竄入湖北羅田境內當由黃州府琦瑞卿太守札委候補知縣忠興前往查探茲已回郡禀明匪亂已平太守隨即電報道轅略謂忠令由羅回郡該縣地方平靖軍隊到販米陸續亦到黃防營駐防僧塔寺常備軍分防各要處可保無虞張正金現退往商城黨羽漸散惟首要尙無實在下落云

●商部因愼用工程師咨各督撫文　爲咨行事案查各處興辦鐵路需才孔亟而熟諳路工人員尙不甚多間或不敷分布借才異域暫資任使自是權宜之計惟是訂用之初既須分明權限尤貴遴選通才一或不愼不第啓專擅跋扈之弊而互相汲引濫竽充數以致林立多員虛糜工款或亦在所不免且一遇合同年滿而熟諳工程洋員往往各路爭聘私相羅致致開要挾之風而本路遽易生手轉無以收駕輕就熟之效關係路務至爲重要現在各省路務日漸發達彼此同時興辦需用人才尤多本部係路務綜司亟應釐定劃一辦法共資遵守爲此通行各路嗣後如須訂用路工洋員務先將該員姓名國籍以及月薪年限暫附合同草底咨明本部核復即調用他路洋員亦須先期咨明本部由部咨商該管路大臣或該辦路官紳復到再行訂用不得私相羅致啓流弊至從前訂用路工洋員亦由各該管路大臣查明上開各節粘附合同知照本部備案除分行外相應咨行

●條陳傳敎辦法　聞岑督有條陳敎士傳敎之事大致謂敎士傳敎宜在通商口岸或火車輪船通達之處其內地荒僻之處以及風氣未開民風强悍兵力單薄之處不必前往傳敎以免生事並云各敎堂祗可在通商口岸置買房產其餘內地各處一概不得置買云云

●提學使不赴日者八人　各提學使中之不赴日本者惟奉天之張鶴齡四川之方旭廣東之于式枚河南之孔祥霖江蘇之周樹模安徽之沈曾植山東之連甲直隸之盧靖等共八人均不赴日因于在本任連孔盧方均就近到任沈爲江右奏請暫留張則奉天催赴任所周新隨五大臣回國且諸人或向辦學務或曾經出洋故均不必前往

●電查徵警鬥案　聞練兵處有電致江督爲巡警與徵兵互鬥至傷斃人命一案請將原案情形咨行本處以便核辦嗣江督電陳原委經練兵處查核已飭其和平了結不得偏袒致滋擾亂云

●粵路酌定年限消息　前粵垣接有京師來電消息謂粵路酌定年限俟滿限時改歸國有之說此事未經公司中宣佈亦未見有明文眞假不能逆料近日商場中有一種風傳許此事由公司辦事人回覆允定九十九年後改歸官辦而京中來電則祗允四十年聞說公司中已得有信息但不肯宣佈因恐阻礙股東交股之熱心

●請勦口外馬賊　察哈爾都統日前有電到京云張家口一帶自遭水災之後商民頗覺困苦邇來口內口外尤有馬賊聚集多人千百成羣横恣搶掠該匪等係由山西竄擾此地本地官軍殊難勦捕請轉告袁督從速派兵勦辦以免養成巨患

●借欵舉辦要政　鄂督張宮保因本年秋操及興辦一切新政所需之款爲數甚鉅特向漢口某商借銀七十萬兩以資挹注

●記熱河圍場木業　熱河擬開圍場一事袁慰帥派廣西巳革候補道何昭然前往辦理計設分局數處惟入林稍深即能嗥虎嘯入夜局中即閉戶不敢出該處向來雖名禁地然仍有人前往砍伐樹木都統以次均恃此爲律貼伐木之人土人名之爲木老鴰現即雇此等人供役該圍場周圍百里大樹約得四五百萬株現已砍者不及百之一云

●議定南滿鐵路募欵　南滿州鐵路公司開會聖議將日本政府諭示事項已經議定並定於下月召募股欵

●歡迎香取戰艦　日本新購戰鬭艦香取號昨日駛抵于橫須賀軍港此日東鄉海軍大將齋藤海軍大臣等各大員由東京來會歡迎

●日本推廣陸軍　日本陸部擬定於明年推廣馬隊砲隊等兵員當於軍欵增加四成

●籌議採煤噸數　據滿洲鐵路公司籌畫煙臺及撫順煤鑛事宜擬於第一年採煤約計一千噸於第四年採煤約計三千噸並運到大連每噸售價約計七圓

●希普戰禍　希臘國與普爾喀里亞國邦交決裂屢經戰鬭頃復於普爾喀里亞國安斯喀羅斯大戰聞都市大半燒燬並燒斃希臘敎士

●希普開戰原因　土京希臘僑民對於希普開戰情事頗形驚怖想此戰一事係因兩國人種之差異不獨致生憎怨之情實普爾喀里亞國與羅馬尼亞國訂盟敦睦之結果但普爾喀里亞意在遵照羅馬尼亞所爲禁遏希臘貨物入境也

●英皇訪德　英皇愛華德已向馬林巴杜啓程前往各報章均云此次與德皇會晤一節毫與政治不相涉云

雜報

●鬍匪肆行　昨聞北來人云由瀋陽迤北直抵吉林省界漫散鬍匪時出搶刼惟由奉化縣南至鸞樹一帶沿路駐紮常備軍及各軍隊幾無間隙之區該區域內之賊匪尙不得施其伎倆再南由昌圖府抵開原鐵嶺兩縣境內該處鬍匪不時出沒搶刼客商行旅不勝其患雖北向過路兵隊不斷蓋皆有專責傳聞西路賊匪肆行搶刼東路過兵聞而不顧故商旅等多爲停販裹足相傳若此未識果確實否甚望有司地方之責者速籌善策以弭盜賊

暗查持正　埠民云本港小輪船概係華人駕御內有一二日本人爲之督理其事項言由本河駛送行客赴牛家屯每人洋錢參角若本港舢板盪送行客至該岸則每人一角或兩角價格不等視潮流之順逆以爲定前日舢板等皆無事於東港灣處停集如林時岸上來三人意若白舟即有舟子進前問曰客等欲渉渡東岸乎客答以欲僱小輪船意蓋欲速至彼也舟子曰際此風正潮平舟檣掛帆篙子盪槳足抵輪船之迅奚必待定僱小輪船而乘之乎詎語尙未竟旁 小輪船舵長某甲聞之勃怒大聲詬詈向舟子曰爾何强攬我船之主顧乎詞色忿戾適人難堪因犯衆怒一時大譁各舟子群思飽以老拳甲見勢不敵急行竄去有頃甲更率來數人間有日人一名前來尋毆舟子等見有日人羣急飛棹駛赴北岸甲乃覓舟追之比甲追及衆皆登岸甲率其人逐之上岸勢將捉擊舟子適由他處來一暗察楊連元者該暗察居心公正職事勤勞數有功牌蒙上憲賜於是頗得日官憲信任楊見甲等兇追衆舟子等形狀問其原委甚詳該舟子具述一切楊則慣批甲之兩頰且罵之曰爾買毒藥將該苦人全行藥死留爾一人獨持操豈不甚善何必若是霸持航業乎言間又欲批責甲意實冀日人出爲扛幇與楊折衝以便爲之爭氣詎該日人反進身向楊勸慰楊某猶決不從竟執某甲幷諸舟子一同至憲兵判事所具訴一切云云憲兵斷令日後爾等務須各操各業不准稍有任意把持之事立將甲交擊叱退聞者頗稱楊暗查不避勢權敢於任事云云

●刧盜何多　昨聞友人云有錦州販賣騾馬之客甲乙二人身帶洋票一千七八百元至營東花烟台村西偶遇鬍匪二人身騎肥馬手執快鎗將甲乙二人一併喝阻該客身帶之財物如數被刧而去所幸人尙未傷聞該處一帶巡兵怯懦之至有至局報盜者雖鬍匪當前無人敢捕以故盜賊充斥行旅頗切隱憂云

●殺蟲粉毒兒致死　又聞營東北三家子有劉姓者室中僅夫婦兩人務農度日生有二子長六齡次三齡其長子之頭忽生虱 聞人傳說殺虫粉可以治之除根其母尋得是藥以治其子之頭虱不意其次子玩弄葯盒誤吞藥粉當時斃命然據該藥傳單載稱誤入人口毫無損害若此事果眞則此粉不僅殺蟲且能殺人以後凡散布藥粉之處務須加意預防俾免害及生命云

營口市價

豆粕	十個	一三、二
豆油		八、八
麥粉		二、一八
太米		一三、〇二錢
三兎		四、〇
馬狗	仝	四、〇一
艷馬	仝	四、〇〇五
眞龍相連	仝	四、〇七
眞馬		四、〇五
立馬	仝	九五、〇八
鐵毛	仝	九五、〇〇
紅劉海	仝	七九、〇〇
老船	仝	七九、〇五
彩美人	一捆	七四、〇五
九龍	百斤	二三、
西京	仝	一八、〇五
東京	仝	一八、〇五

爲換相場（正金銀行）

內地向	一〇二、五〇
上海向	七一兩〇五
天津向	一〇三圓六二五（銀百弗）
五日の一兩は	軍票一圓四十錢四厘（軍票百圓）
軍票一圓	金一圓二錢五厘

木局
…賜採買客人不失…此廣告
東靑堆子橋南
淡谷木局

北の…

昨日の氣温
最高温度八十八度〇　最低温度六十四度六
昨年より　高五度四　低〇度四

營口 旅館料理店案内
いろは順

旅館料理 元神廟街九十六號 第一 營口ホテル 第一樓

料理 永世街百八十三號 入船亭 谷初次郎

料理 營口永世街 一力 店主 堀万助

旅館 河岸通り 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 永世街八十六 東京館 店主 村上京四郎

旅館 營口新市場前(電話一六番、四四番) 東京樓 店主 熊田粂次郎

旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程 東茂旅館

料理 元神廟街百三十三號 千鳥 店主 吉住善藏

料理 永世街百六十四號 沖の嶋 店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろく 營口元神廟街 翁亭 店主 長谷川金次郎

料理 氷世街八十六號 吉野亭 店主 坪田正好

旅館 西北街(電話一四五番) 高砂ホテル 店主 片山小みつ

料理 營口元神廟街 樂々亭 店主 武部貞

旅館 永世街三十四號(電話十一番) 大和館 店主 前田九一郎

料理 豊濟門外第百〇四番 萬梅 店主 島田彌助

料理 永世街字二本町 まんなをし 店主 和田常松

和洋料理 南永世街 公樂園

料理 營口平野町 喜樂亭

料理 平野町 都樓 店主 阪本ちか

旅館 永世街七號 東雲旅館 店主 谷口今朝太郎

旅館 營口永世街一六號 品川館

和洋料理 營口元神廟街一二三四 松月亭 店和 末松信太郎

料理 醉花園

旅館 永世街百二十七號 澁谷旅館 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 奉天小西關大街北側 瑞豐館 館主 河野嘉吉(電話□)

會席御料理 高等御旅館 奉天小西關大街北側 天神樓(電話□) 温泉付大勉强キレーデチイシヒ 奉天小西關大什字街へ入

旅館料理店 日章館(電話□)

指定奉天兵站部 旅館 奉天小西關大街路北 茂林館(電話二十五番)

御旅館 奉天小西門外大街路北 瀋陽館

御定宿 奉天小西關第五分局八〇 第一東京館 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑静を主として旅館を營業に單ら御客樣の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 奉天城内灰市街 東華門宮殿東側 梅松館 館主 押尾富次郎(電話號)
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚(鰌井鯰蒲燒)等をも新調且つ仕出箸致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理 遼陽城内東街一八九號 遼東館 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般
(營口綏定門街東 ブロツシ商會) 喜川鐵工所

和洋會席 御料理
弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館(電話百三十)
各位樣

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館(電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル(電話一〇)

料理店旅館擴張廣告
四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狹きを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし日本式大宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀を衛生と清潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館(電話八三)
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

遼陽城内西街 御料理 盛進館 雜貨 井川商會 店主 北ツネ

和洋 御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街(電話十四番)

日清倶樂部(電話十五番) 奉天城内大南門裡大街
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫
氷御小賣所

一杉丸太長一丈より五間迄 末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一大小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行(電話一五二)

○板材木 ○蚊張 ○金物類 ○金庫 ○疊建具 ○花莚 ○椅子テーブル ○ペンキ ○洋燈類 ○文具 ○鰹節雜魚 ○紙類 ○酢醤油 ○罐詰 ○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街 石光洋行
遼陽西門外 石光洋行支店

土木建築請負 遼陽城内西街
煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所
雜貨卸小賣 主任 海南右門

新着荷
蠟燭 裝飾用品 洋食用品 内容器 秤 卅六貫以下種々 手提金庫 コッピー用附屬品(電話五號)
窓掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシャツ シャツ カラー及 學校用文房具各種 各種複寫簿
關東公司雜貨部

土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晩に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候
牛莊ホテル(遼河々岸)

土木建築並ニ測量設計請負 營口青堆子綏定門外 志岐組

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 船來品類 其外新荷着船來品精々大勉强販賣 遼陽西門外筋 北原洋行

醇良日本酒 金露 大販賣 サッポロビール 孔雀印平野水
和洋雜貨 洋酒化粧品 千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
酒類 食料品 千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

石材 石灰 大販賣 英洛洋行(營口西北街)(電話三二)

ペンキ塗請負 營口豐濟門街三十一號 京阪組
臨時出張所 鐵嶺正金工場内 新民屯泰東公司内

恵比寿ビール YEBISU TRADE MARK 商標 登録 DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麦酒株式會社
金升洋行 盛進商行

自造 煉瓦 瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組(電話八十六番)

新荷着

白米、醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、東京タクワン、其外和洋酒類
營口特約大販賣 大原洋行 永世街第二十八號

東清鐵道
大連 南關嶺 大房身 金州 三十里堡 得利寺 萬家嶺 瓦房店 熊岳城 蓋平 大石橋 營口 海城 遼陽 奉天 蘇家屯 撫順 鐵嶺 開原 昌圖 [illegible]

南關嶺にて乗換 大石橋營口往復の者は大石橋にて乗換へ蘇家屯撫順線各驛往復の者は蘇家屯にて乗換へ [illegible]